



**2023年6月11日
6月第二主日礼拝式**

140 互いに愛し合い

たがいに愛し合い

主イエスの愛を

すすんで世界にあらわそう

ともに

日ごとに新たな きよい主の愛

さあ今 手を取り あらわそう

183 多くの冠

おおくのかんむり その御名にうけて
義とみことばで すべてをおさめる
主よ あなたは 栄光の神
天と地の王なる主
すべての主 すべての王

新聖歌420番 「雨を降り注ぎ」

1 雨を降り注ぎ 恵みたまうと

神は愛をもて 誓(ちか)いたまえり

* 夕立(ゆうだち)のごと 天(あま)つ恵みを
イエスよ今ここに 注ぎたまえや

2 雨を降り注ぎ 強き音もて

眠る民(たみ)の目を さましたまえや 【*】

3 雨を降り注ぎ 神のことばの

変わりなきことを しめたまえや 【*】

4 雨を降り注ぎ ひとりびとりに

くしき汝(な)がわざを 見させたまえや 【*】

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌256番 「御翼(みつばさ)のもとに」

- 1 御翼(みつばさ)われをおおえば 嵐たけるやみよも
イエスに頼り安きあり われは神の子なれば
* わが主の愛より 離(はな)すものなし
御翼に守られ 永遠(とわ)に安(やす)けし

- 2 御翼われにとりては 悩むときの隠れ家(が)
癒(いや)す者のなき時も そこにわれは安(やす)ろう
* (くりかえし)

- 3 いのちの絶(た)ゆる時まで 御翼のかげに寄(よ)らん
イエスにありてわれ安(やす)し そこなうものなければ
* (くりかえし) アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン